▲▼▲第62回クリエイティブサロン（2020年 2月1日）開催報告▲▼▲

第１部講演会：「ABCDEの時代」をどう生きるか」

講師：高橋　誠
（株）創造開発研究所 代表・博士
日本創造学会評議員長

私はこれから創造性の発揮を目指す人は、「ABCDE」を意識して行動すべきと考えます。
ABCDEはそれぞれ、AはAI、B はBelief、CはCreativity、DはDesign Thinking 、EはEthicsになります。順に説明します。
私たちはまず、AのAIの動向を必死に学習しなければならないと考えます。AIは人の仕事の半分を奪う、いや1割程度だ、など多様な研究がありますが、AIがこれから人間に多大な影響を与えることは間違いありません。ぜひ深層学習の展開を見守りましょう。
B はBeliefです。Beliefには信念と信頼の2つの意味があります。自分が目指す創造は何なのか、自己課題を明確に決め、その課題を信念をもって実践することが欠かせません。そして、仲間の信頼を勝ちとり、共働して創造に向かうことが大切です。
C はもちろんCreativityです。自分の創造性を伸ばすことが大切なのは論を待ちません。私は創造性の開発には「5つのP」を身につけるべきと考えています。それはPrinciple（創造の基本）、Principal（創造の主体）、Place（創造の分野）、Process（創造の手順） Procedure（創造の技法）の５Pです。これらの内容はぜひ、「実例で学ぶ創造技法」などで学んでください。AIに対抗できる人間の能力の最大のものは創造力なのです。DはDesign Thinking、デザイン思考です。デザイン思考は、創造性の発揮に創造技法を、総合的に活用するステップを提示したところにあります。私はこのステップを、1. 観察（Search）、2. 思考（Think）、3. 評価（Evaluate）、4. 試行（Prototyping）、5. 実践（Practice）のSTEPPにまとめています。この各ステップで創造技法を活用します。
EはEthics、倫理です。倫理観を欠いた独創は独走です。最後は倫理で自戒すべきです。
【講演所感】
講演は私の学会での経歴も含めて話させていただきました。多くの方に熱心に聴講いただき、大変感謝しています。講演の最後をF、Finishとしましたが、永井理事長からFuture でしょうとアドバイスされました。確かに創造は誰にでも未来永劫の課題といえます。　（記事：高橋誠）

第2部講演会：　マイファミリーストーリとしての創造性教育への道

講師：國藤進
北陸先端科学技術大学院大学名誉教授
兼非常勤講師
日本創造学会副評議員長

教育熱心な母親・父親・叔父たちの影響で中学・高校時代に発明・発見少年になった講演者が、大学・大学院時代に川喜田二郎、森政弘といった名伯楽に会い、創造的な研究者・教育者となったストーリを個人的エピソード満載で講演した。特に川喜田二郎から学んだKJ法と森政弘から学んだ人工物創造（デザイン思考）をW型問題解決学として血肉としていった。北川敏男とのご縁で富士通㈱国債情報社会科学研究所に就職した。18年間勤務した際、第五世代コンピュータプロジェクトに従事し、ここでの活躍が認められ、1992年に北陸先端科学技術大学院大学に招聘された。初代学長慶伊富長の命で知識科学研究科の創成にも加わった。ここでの23年間の勤務を経て、副学長等を経て、現在名誉教授である。
この間、未知の問題にアタックする際にW型問題解決学を利活用し、アブダクションやインダクションの実装を行い、それなりの成功をおさめた。ある時期から研究開発成功のために夢を見ることの重要性に目覚め、國藤流の「ゆめがく」で困難な問題を解決している。個人情報満載のエピソードは面白く、かつ有益との指摘が聴衆からあり、講演後および懇親会で質問が集中したのが記憶に新しい。

（記事：国藤進）